

## 第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成21年9月3日 第5校時

学 級 1年B組(男子15名 女子15名 計30名)

指導者 深 澤 伸

- 1 主題名 誠実な生き方 1－(3) 自主・自律・誠実・責任
- 2 資料名 「二丁目の自動販売機」 出典(「かけがえのない君だから1年」学研)
- 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

内容項目1－(3)は、「自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ」となっている。

生徒たちは今、子どもから大人への重要な成長過程の中におり、日々、試行錯誤を繰り返しながら少しずつ前進している。しかし現在、社会では毎日のように事件事故が起きており、価値観も多様化している。このような時にこそ、善悪の判断をしっかりとし、物事に誠実に取り組んでいくという姿勢が必要であると考えます。

生徒が自己の内面を見つめ、直面する課題に主体的に取り組み、誠実であり、責任を持った行動がとれるようにしたいと考え、本主題を設定した。

### (2) 生徒の実態について

中学校入学後およそ半年が経ち、学校生活にもだいぶ慣れてきた様子である。係活動などはしっかりと行おうとする生徒が多いが、周囲に遊んでいたり話をしたりする生徒がいたり、そちらが気になり、仕事に集中できなくなってしまうというように、他人の言動に左右されてしまいがちな生徒も中にはいる。また、自分で適切な判断ができずに、安易な方向に流されてしまいがちな生徒もいる。

本授業を通して、日々の生活を見つめ直し、自らの弱い心に負けずに的確な判断をし、誠実に生きていけるよう指導したい。

### (3) 資料について

本資料は、主人公の「明君」が友だちの「長野君」に、うまくすると10円でジュースを出すことができる自動販売機が2丁目にあることを聞かされ、興味を持つ。明君は迷いながらも、好奇心に駆られて実際にやってみようと2丁目に向かう。しかし、自動販売機が近付くにつれ、人に流されてしまうことに後悔し、次第に良心に目覚めていく心情を描いたものである。

主人公の心の中で葛藤が生まれる部分に共感させ、そして最終的には誠実に生きていこうとする心の内を考えさせたい。

## 4 指導の構想

展開では、悪いこととは知りながらも興味を持ち、自動販売機に向かう主人公の気持ちに共感させ、自動販売機が近付くにつれ、主人公の中に生まれる葛藤と、誠実に生きていこうとする主人公の様子をおさえさせたい。

終末では、資料と自分たちの日常生活を重ね合わせながら、本時のねらいへの理解を深め、今後の生活に生かそうとする意欲を持たせたい。

## 5 ねらい

他人の言動に左右されることなく、自らを律することの大切さを理解させ、自他ともに誠実に生きていこうとする心を育てる。

6 本時の展開 ○基本発問 ◎中心発問

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 10分	1. 資料「二丁目の自動販売機」を範読する。 2. 主人公「明」についての感想を聞く。	○明君についての感想を話してください。	・教師の範読を静かに聞かせる。 ・明に焦点をあて、感想を話させる。
展開 32分	3. 資料に関して、以下のことを考える。 (1) 長野君から二丁目にある自動販売機の操作について聞いた時の主人公の気持ちを考える。 (2) 長野君と2丁目の自動販売機のところへ行く主人公の気持ちを考える。 (3) 10円玉と棒を持ち、自動販売機を前にした主人公の気持ちを考える。	○どうして、明君は「悪いことかもしれないけれど一回ぐらいは、やってみたい」と思ったのでしょうか。 ☆そんな明君を、どう思いますか？ ・やり方が面白そう。 ・さすがにマズイだろう。  ○どうして、釣りの帰り道、明君は、「重いおもりを引きずって自転車をこいでいるような気持ちがしてきた」のでしょうか。 ☆どうして明君は迷っているの？ ・友だちを裏切れない。 ・得をする話だから仕方ない。 ・どんな理由があれ、悪いことは悪い。  ◎どうして明君は「、両手が鉛のようにずっしりと重くなるのを感じた」のでしょうか。 ☆その後、明君はどう行動したでしょうか？ ・人に見られていなくても、悪いことは悪いと気付いたから。 ・きっぱりと断ればよかったと後悔している。	・明が、悪いことと知りながらも興味を持つことに共感させる。 ・親友を裏切れない気持ちを確認させる。 ・明の弱い面を意識させ、共感させる。 ・他人に流されながらも、実際にやってしまったら、大変なことになるという不安な気持ちが主人公に生まれてきたことを捉えさせる。 ・明の気持ちの中で葛藤が始まったことに気付かせる。  ・悪いことと知りながら行動を起こそうとする時、自分の中の良心が自分にどう働きかけているかを気付かせる。 ・誠実に生きようとする姿や、行為が及ぼす結果について考えさせる。  ・資料を通して把握した価値に照らし、自分自身を振り返らせる。
終末 8分	4. 本時の学習で気付いたことを書かせ、発表させる。		・様々な行動には責任が伴い、深く考えて誠実に行動すべきだということを考えさせたい。 (学習プリントへの記入)

資料分析図

主要場面	主人公の意識	学習者の意識	意識の焦点化	発問案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公が、長野君から二丁目にある自動販売機の操作について聞いた場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親友と言われて嬉しい。</li> <li>・面白そう。</li> <li>・そんなことをして、本当に良いのかなあ。</li> <li>・自分だけに教えてもらって嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごい自動販売機だな。</li> <li>・さすがにマズイだろう。</li> <li>・自分もやってみたいな。</li> <li>・やり方が面白そう。</li> <li>・興味を持った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことと知りながらも興味を持つことに、共感させる。</li> <li>・興味本位、親友を裏切れない気持ち、秘密を打ち明けられた主人公の割り切れない気持ちを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして、悪い事かもしれないけれど一回ぐらいは、やってみたいと思ったのでしょうか。</li> <li>・そんな明君を、どう思いますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公が、長野君と二丁目の自動販売機のところへ行く場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今さら長野君に嫌だなんて言えない。</li> <li>・はっきりと断れない…どうしよう。</li> <li>・きっぱりと断れば良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕方がない(親友の手前)</li> <li>・得する話だから仕方がない。</li> <li>・悪い事しようとしているのだから、どんな理由があれ、主人公は悪い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の弱い面を意識させ、その面に共感させる。</li> <li>・他人に流されながらも実際にやってみたら、大変なことになるという、不安な気持ちが主人公に生まれてきたことを捉えさせる。</li> <li>・主人公の気持ちの中で葛藤が始まったことに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして、釣りの帰り道、明君は、重いおもりを引きずって自転車をこいでいるような気持ちになったのでしょうか。</li> <li>・どうして明君は迷っているの？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公が、10円玉を持って自動販売機を前にした場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り返しのないことになった、どうしよう。</li> <li>・どうしてやってみたいなんて言ってしまったんだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に見られていなくても、悪い事は悪い。</li> <li>・きっぱりと断ればよかったと後悔している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切羽詰まった主人公が葛藤を克服し、誠実に生きようとする姿を捉えさせる。</li> <li>・悪いことと知りながら行動を起こそうとする時、自分の中の良心が自分にどう働きかけているか、気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして、明は、両手が鉛のようにつっしりと重くなるのを感じたのだろうか。</li> <li>・その後、明はどう行動したのでしょうか。</li> </ul>



- ・友だちの長野君が教えてくれた
- ・うまくやると十円でジュースが買える



- ・その機械を見てみたい
- ・おもしろそう
- ・友だちに言われているから断れない
- ・得する話

悪いことかもしれないけれど、一回ぐらいはやってみたい…

興味を持つ

釣りの帰り道…



二丁目が近づくにしたがって、重いおもりを引かずって自転車をこいでいるような気がしてきた。

迷う

- ・怖い
- ・悪いことだ

- ・見つかったら大変
- ・友だちを裏切れない
- ・今さら断れない

明は、どうして両手が鉛のようにつしりと重くなるのを感じた。

後悔する

- ・人に見られていなくても、悪い事は悪いと気付いた
- ・きっぱりと断ればよかった



よく考えて行動する